

2024年4月27日

星野朋子 納骨式

司式 金沢文庫キリスト教会
牧師 森島 牧人

招 詞 詩編116

わたしは主を愛する。
主は嘆き祈る声を聞き
わたしに耳を傾けてくださる。
生涯、わたしは主を呼ぼう。

讃美歌 21-385

聖 書 フィリピの信徒への手紙 3:20-21

しかし、わたしたちの本国は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主として来られるのを、わたしたちは待っています。キリストは、万物を支配下に置くことさえできる力によって、わたしたちの卑しい体を、御自分の栄光ある体と同じ形に変えてくださるのです。

主の祈り

天にまします我らの父よ。
願わくは御名をあげさせたまえ。
御国を来たせたまえ。
御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を今日も与えたまえ。我らに罪を犯すものを
我らが許すごとく、我らの罪をも赦したまえ。
我らを試みに会わせず、悪より救い出したまえ。
国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。

アーメン

讃美歌 21-575

メッセージ 「主と共に生きる喜び」

祈 禱

納 骨

讃美歌 21-28

祝 禱

黙 禱

讚美歌 21-385

- 1 花彩る春を この友は生きた いのち満たす愛を 歌いつつ
悩みつまずくとき この友の歌が わたしをつれもどす 主の道へ
- 2 緑もえる夏を この友は生きた いのち活かす道を 求めつつ
悩みつまずくとき この友のすがた 私をふりかえる 主の道で
- 3 色づきゆく秋を この友は生きた 命他人のために 燃やしつつ
悩みつまずくとき この友は示す 歩み続けてきた 主の道を
- 4 雪かがやく冬を この友は生きた 命あたためつつ 安らかに
この日 目を閉じれば 思い浮ぶのは この友を包んだ 主の光

故 星野 朋子

納 骨 式 次 第

讚美歌 21-575

- 1 球根の中には 花が秘められ さなぎの中から いのちはばたく
寒い冬の中 春はめざめる その日 その時を ただ神が知る
- 2 沈黙はやがて 歌に変えられ 深い闇の中 夜明け近づく
過ぎ去った時が 未来を拓く その日 その時を ただ神が知る
- 3 いのちの終わりは いのちの始め 恐れは信仰に 死は復活に
ついに変えられる 永遠の朝 その日 その時を ただ神が知る

讚美歌 21-28

- 1 み栄えあれや 父と子と聖霊に はじめも今も とわにかかわらず
み神に アーメン アーメン

日時 2024年4月27日(土)午前11時

場所 八景苑